

Captain English Course I Revised

題材にこめたメッセージ

教科書編集部

■ Lesson 1 “Not No. 1 but Only One”

Captain English Course I の改訂にあたっては、この教科書のもつ「メッセージ性」をより重視しました。それをもっともよく表しているのが Lesson 1 の “Not No. 1 but Only One” です。

ここで題材として使われているのは、2003年に SMAP が歌って大ヒットした「世界に一つだけの花」です。この歌は、もともとテレビドラマの主題歌として使われていましたが、「NO.1 にならなくてもいい もともと特別な Only one」というメッセージが多くの人々に支持され、その年の紅白歌合戦でも歌われました。

以下は、この歌の内容を英語にした Lesson 1 の全文です。

This flower is beautiful.
That flower is also beautiful.
They don't compete with each other.
Each flower grows and blooms beautifully.
Each is alive and proud.
So why do we compete?
We too are flowers.
Each is unique.
Big flowers. Little flowers.
We are all different.
You're not No. 1? That's all right.
Each of us is only one.
So let's grow and bloom.

■ Lesson 6 “Is Seeing Believing?”

「目の錯覚」にスポットをあてた教材です。矢

印の羽の向きで同じ長さの線でも長さが違って見えるというような図はよく知られていますが、ここでは、それを楽しむだけにとどまらず、それが実際の生活のなかでどのように利用されているかを紹介しました。

たとえば、教科書46ページには黒い皿に載ったリングと白い皿に載ったリングの写真があります。おいしそうに見えるのはどちらでしょうか。また、道路に書かれた制限速度の数字が細長いのも、ドライバーの視点を考えて錯覚が利用されているからなのだと言えます。

Part 3 目の錯覚が私たちの生活に役立つこともあります。

You can experience illusions in a car. One example is three-dimensional signs on the road. Drivers begin to go slowly because those signs look like they're coming out of the road. Also, some numbers or letters on the road are very long. Why?

Can you read the next message?

制限速度の標識
上：横から撮影
下：ドライバーの目線から撮影

立体的に見える道路標識

experience [ɪkˈspɪəriəns]
イクスピアリエンス

? Questions
1. ドライバーが減速するのはなぜでしょうか。
2. 目の錯覚を利用したものを他にも考えてみよう。

Lesson 6 Part 3 (p.47)

図版を豊富に用意しましたが、これらは見て楽しむためだけにあるものではありません。このレッスンの文法ターゲットである「比較表現」について、実際に写真を見ながら「大きさ」「明るさ」

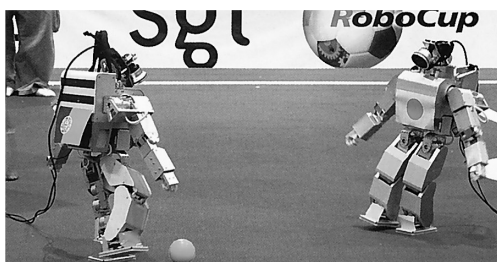
について英文で表現できるようになることを目指しているのです。*Teacher's Manual* にはその他の図版も豊富に用意していますので、授業のなかで活用していただければと思います。

■ Lesson 9 “Can Robots Beat Us at Soccer?”

ワールドカップといえば、4年に一度開催されるもの？ 毎年行われているサッカーのワールドカップがあるのをご存じでしょうか？

それは、ロボットによる「ロボカップ」です。

ロボカップは、自律移動ロボットによるサッカーの大会で、1992年、日本の研究者らによって提唱され、1997年に第1回世界大会が実現しました。2005年は大阪で第9回世界大会が開催され、今年はドイツのブレーメンでの開催が予定されています。



リスボンで行われたロボカップ 2004 (p. 72)

そして、このプロジェクトは具体的な目標として、「西暦2050年、サッカーの世界チャンピオンチームに勝てる、自律型ロボットのチームを作る」ことを掲げているのです。

ロボットは、つい最近まで二足歩行さえ困難でした。しかし、研究者は多くの困難をひとつひとつ乗り越えています。現在、ロボットは、あお向けの状態からはね起きたり、ドアノブを回してドアを開け、そこを通り抜けることさえできます。

2050年という数字は非現実的だと思いますか？ それとも、サッカーで人間がロボットに負けてしまう日はもうそこまで来ていると思いますか？

■ その他の注目教材いろいろ

Lesson 2 では、環境問題を取りあげました。アラスカのラッコが減少し、その結果、ウニや海藻にも影響が出ています。自然や生態系の大切さを考えるきっかけになればと思います。

Lesson 4 は、ご高評をいただいている、元大関の KONISHIKI さんがある高校で行ったスピーチです。この教科書のメッセージである “You are the captain of your life.” は KONISHIKI さんのスピーチからのものです。



スピーチのあとで高校生と対話する KONISHIKI さん (p. 33)

生徒が親しみをもてる話題も多く取り上げています。「恋愛」は高校生にとって最も身近な話題と言えるのではないのでしょうか。Lesson 7 は、友情と恋愛の板ばさみになってしまった Jeff がラジオの身の上相談番組に電話をかけるという設定です。生徒たちなら Jeff にどんなアドバイスをするのでしょうか。

また、Lesson 8 はボランティアをテーマに、栃木県のある高校が取り組んでいるタイでの車いすの修理活動を紹介しています。

* * *

Captain は、高校生のひとりひとりが自分自身に向き合い、自分の人生を切り開いていってほしいという思いをこめて作った教科書です。使われている英語はシンプルですが、生徒ひとりひとりの心にメッセージが届くことを確信しています。ぜひ、教科書を開いていただいて、先生ご自身の目でそれを確認していただければ幸いです。